岐阜県、大滝鍾乳洞と飛騨大鍾乳洞の秘蔵写真

沢　勲・由良　薫・八木誼信・八頭司彰久
（洞窟環境 NET 学会）

Treasured Photos of Otaki Stalactite Cave and its Hida Large Stalactite Cave, Gifu Prefecture

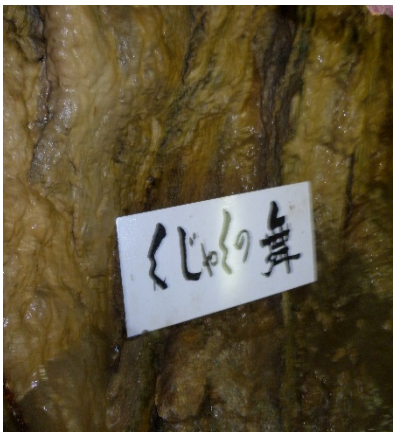
Isao SAWA・Kaoru YURA・Yoshinobu YAGI・Akihisa YATOUJI

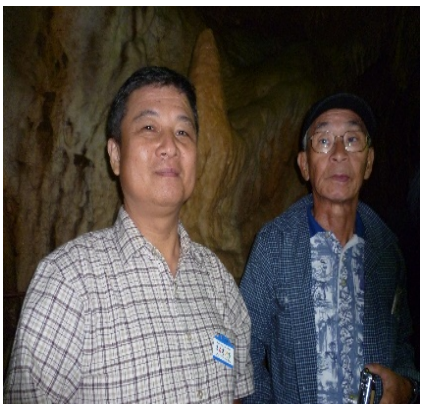
1. 岐阜県郡上市の大滝鍾乳洞

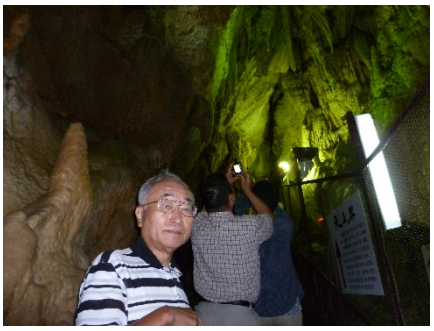
所在地は〒501-4205、岐阜県郡上市八幡町安久田 2298 である。石灰岩（Limestone）とは、炭酸カルシウムを主成分とする堆積岩の総称。石灰質の殻をもつ生物の遺骸を主とする生物起源と，化学的沈殿による混合物である。生物起源のものは，化石の種類により，貝殻石灰岩，有孔虫石灰岩，サンゴ石灰岩，フズリナ石灰岩などと呼ぶ。石灰石の「炭酸カルシウム（$CaCO_3$）」の原料は、石灰石が広く使用され、学術的に石灰岩と呼ばれる。石灰石の年代は、古生代（2～3 億年前）の珊瑚や有孔虫など生物の遺骸が沈殿・堆積している石灰岩層にできた断層が地下水によって削られている。石灰質の殻をもつ生物の遺骸を主とする生物起源と，化学的沈殿によるものがあり，普通，両者が混合した堆積岩の総称である。名水の供給は、岐阜の山深い郡上八幡の山間部に広がる石灰岩のカルスト地形である。大滝鍾乳洞は、郡上八幡に石灰岩層があるため、東海地方でも最大級である。鍾乳洞は、山中にある石灰岩層に生じた断層が、地下水の流入によって長い時間をかけて溶けながら洞窟を形成した。大滝鍾乳洞の歴史は 2～3 億年と言われる。大規模な竪穴式の鍾乳洞になったのは、大量の水量が基因される。発見は40年前である。現在までの調査で総延長は2kmと判明され、東海地区でも最大級の鍾乳洞とされている。そのうち現在公開は、約 700mである。大滝鍾乳洞の入口までは急斜面の杉林がある。全国的に珍しい木製のケーブルカーが運行している。洞内は水量が豊富で、現在も鍾乳石を成長させている。豊富な水量によって洗浄され、乳白色と透明度の高い鍾乳石になっていると想像できる。金属イオンが溶け込んで赤くなった鍾乳石がある。

岐阜県の大滝鍾乳洞の案内図　http://guide.travel.co.jp/article/2354/

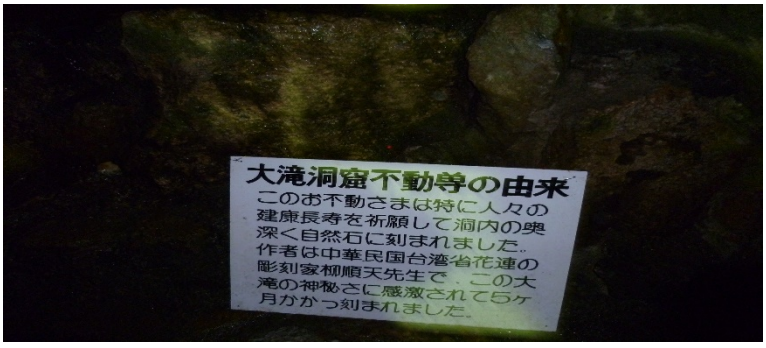
大滝鍾乳洞
発見－昭和44年7月13日
開洞－昭和45年7月11日


くじゃくの舞





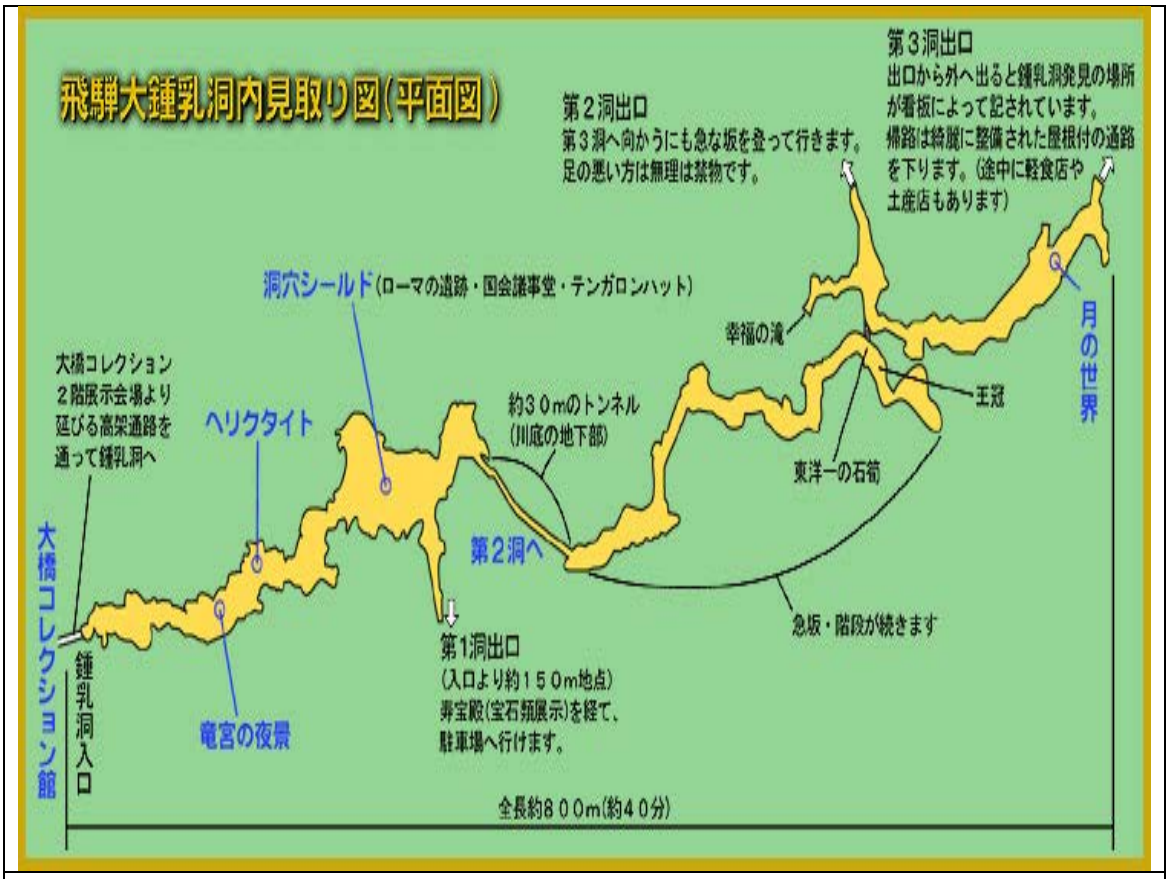
大滝カーテン


大滝洞窟不動尊の由来
このお不動さまは特に人々の
健康長寿を祈願して洞内の奥
深く自然石に刻まれました。
作者は中華民国台湾省花蓮の
彫刻家柳順天先生で、この大
滝の神秘さに感激されて5ヶ
月かかって刻まれました。

2.岐阜県高山市、飛騨大鍾乳石

所在地は〒506-2256 岐阜県高山市丹生川町日面 1147 である。地球には、石灰岩・花崗岩・砂岩・玄武岩・安山岩および凝灰岩など多くの岩がある。ここで、サンゴ・海百合・フズリナ・二枚貝・有孔虫などのカルシウム分含む海中生物の死骸が、長い時間をかけ積み重なった石灰岩である。石灰岩とは、炭酸カルシウムを主成分とする堆積岩の総称。石灰質の殻をもつ生物の遺骸を主とする生物起源と，化学的沈殿による混合物である。生物起源のものは，化石の種類により，貝殻石灰岩，有孔虫石灰岩，サンゴ石灰岩，フズリナ石灰岩などと呼ぶ。石灰石の原料は、「炭酸カルシウム（CaCO3）」で、学術的に石灰岩と呼ばれる。石灰石の年代は、古生代（2～3 億年前）の珊瑚や有孔虫など生物の遺骸が沈殿・堆積している石灰岩層にできた断層が地下水によって削られている。石灰質の殻をもつ生物の遺骸を主とする生物起源と，化学的沈殿によるものがあり，普通，両者が混合した堆積岩の総称である。鍾乳洞は、山中にある石灰岩層に生じた断層が、地下水の流入によって長い時間をかけて溶けながら洞窟を形成した。

飛騨大鍾乳石の歴史は 2～3 億年と言われる。石灰洞とは、酸性の水に溶けやすく、石灰岩の隙間にしみこんだ雨水の溶食作用により空間である。石灰岩による溶洞である。鍾乳洞とは、鍾乳石がある洞穴と呼び、多くは石灰岩からなる石灰洞である。鍾乳石とは、雨水により石灰岩の主成分である炭酸カルシウムを溶かした水が、洞穴で再び固まり石である。鍾乳石には、つらら石、石荀と石柱の総称である。

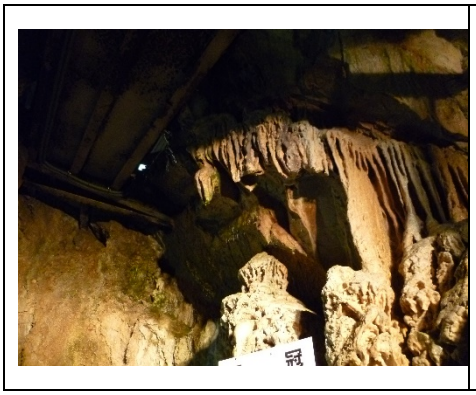


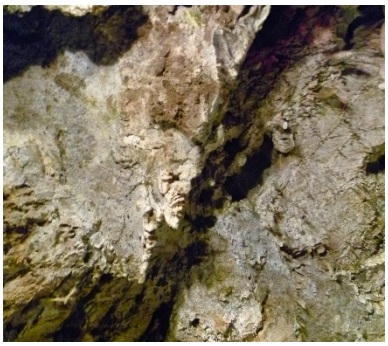
岐阜県、飛騨大鍾乳洞内見取り図(平面図)

禁煙

海百合化石

学名
石灰岩





王冠

大円空像

学名
フロストーン

学名
洞穴真珠

王冠